

自動車総連 ジェンダー共同多様性推進の取り組み

自動車総連では、2021年から2027年までのジェンダー共同・多様性推進計画に沿って、誰もが参加しやすい組織づくりを進めてきています。女性役員を増やすことや、立場や性別に関わらず意見が出しやすい環境づくりなど、数値だけでなく「意識」と「風土」を変えていくことを大事に、取り組みを進めています。



これまでの主な取り組みとしては、年1回の研修会を継続して実施し、性別や職位に関係なく、組合活動に踏み出しやすくなるような内容で進めています。

また、昨年は推進担当者や女性委員会のメンバーが集まり、この5年間で進んだこと、まだ課題として残ることを率直に話し合う意見交換会も行いました。女性役員が増え、制度面でも前進が見られる一方、女性管理職の少なさや、意思決定に関わる場に女性が少ないこと、長時間労働が習慣として残っていることなど、また改善すべき点もはっきりしてきています。

これからの2年間は、現行期間のまとめ期間であり、次の計画をつくるうえでも非常に大事な時期になります。現場で働く仲間の声を丁寧に拾いながら、実態をしっかりと把握していくこと。そして、研修や啓発の取り組みの質もさらに高め、形だけの計画にならないよう、実際に役立つ内容に向けて取り組む事です。

多様性の推進は、特別な活動ではなく、みんなが働きやすくなるための土台だと思っています。これまでの蓄積を活かしつつ、残された課題に向き合いながら、誰もが尊重されて力を発揮できる組織へ、これからも一步一步進めていきます。仲間とともに、多様性を未来の力に変え、持続的な前進をめざして取り組みを続けていきます。

自動車総連岩手地方協議会
議長 豊嶋 昌勝